

家政学会における情報処理研究に対する提案

横井仁史（聖徳女短大）

情報処理技術（マルチメディア、バーチャル・リアリティ）の発達に伴い、生活の各分野（衣、食、住、育児など）において、情報の収集・保存・利用など情報（情報処理）の重要性が益々、重要になってきている。

しかし、家政学会において、今回の研究発表分野の分類でも分かるように、情報関係（生活情報）の発表分野を重要視していないように見られるのは非常に残念である。

情報（情報処理）研究は情報処理関係の学会にお任せではなく、家政学会（生活を視点）として研究すべき情報（情報処理）関係は何か、どういう視点で研究しなければならぬかを議論すれば、今後、家政学会（生活の場）において、最も重要なテーマ一つになると確信する。

そこで、家政学会（生活）の対象とする情報処理研究をどう考えるべきかについて提案を行いたい。